

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書様式】

(モデル地域名 廿日市市地域)

I. 地域の概要 (平成15年4月現在)

廿日市市地域 (モデル校: 高等学校1校)

広島県立廿日市西高等学校 課程, 学科名 [全日制, 普通科]

II. 平成15年度の実践研究の概要

1. 推進地域の研究の見通しを踏まえて定めた, モデル地域としての現状及び研究の計画・見通し等

(1) モデル地域における「総合的な学習の時間」の現状と問題点

① 現状

・廿日市市

平成10年に廿日市市青少年問題審議会を設置し, 「廿日市市青少年育成プラン」を策定した。その中で, 学校教育における多様な教育活動の支援事業として, 「総合的な学習の時間」における推進体制の整備を支援している。具体的には, ①教育・環境・福祉・保健・農林の各関係行政局との連携。②体験学習導入の支援。③インターンシップ, 福祉体験ボランティア体験などの導入の検討・実施。④社会の要請に応じた現代的課題への支援などである。

・廿日市市立阿品台中学校

3年間をとおして「学び方を学ぶ」という学習スタイルを育成するという方針のもと学習を進めている。

1年生・・・「基本学習」として, 与えられた課題を調べ学習などの基本を学びながら課題解決を行う。

2年生・・・「応用学習」として, 課題を選択し1年生で学んだ内容を発展させて課題解決を行う。

3年生・・・「発展学習」として自ら課題を設定し解決していく学習を行っている。また学習の柱として「人間を知る」「自分探しの旅」「共に生きる」を設定し, それぞれ学年の発達段階に応じてカリキュラムを組んでいる。

・廿日市市立野坂中学校

3年間を次の目標で学習を展開している。

1年生: 共感・表現・感動のある活動をとおして, 生徒一人ひとりの将来の夢や希望を育てる。

2年生: 共感・表現・感動のある活動をとおして, 将来の自己像の実現に向けて努力する生徒を育てる。

3年生: 共感・表現・感動のある活動をとおして, 自己の将来を展望し自己の生活を切り開いていこうと努力する生徒を育てる。

学習内容は, 1年生では職場体験学習やボランティア活動, 2年生は上級学校訪問, 3年生は, 創造表現活動をとおして学習のまとめを行っている。

・広島県立廿日市西高等学校

平成13年度から, 「総合的な学習の時間」を導入し, 受け身的な学習態度からの脱却を願い, 「調べ学習」や「体験活動」を通して生徒に目的意識を持たせ, 主体的に学習に取り組む態度の育成を図った。一昨年は, 1学年400名の生徒が, 自らの興味・関心に応じて98のテーマに分かれ, 正副担任21名の指導のもと, 総合的な学習の時間で課題研究型の学習を行った。年度末には, 98テーマのうち研究内容及びプレゼンテーションの明確な8テーマを「さくらびあ大ホール」で発表し, 保護者や地域の人々に公開した。

② 問題点

各校とも指導目標を設定し, それぞれに評価の観点を設けて学習活動を行っている。しかし, 中学校同士の横の連携や中高等学校の縦の連携はほとんどなく, 系統的に「総合的な学習の時間」が行われていない現状がある。また, 生徒の発達段階における到達目標も明確になっていない。よって, 中

学校の「総合的な学習の時間」で身に付けた様々な「力」を高等学校において継承、発展させられていないことがあげられる。また、教職員間で目標が共有が不十分な側面があり、未だ「総合的な学習の時間」の展開に戸惑いをもつ教職員も見受けられる。

(2) モデル事業の実践研究について

○ 2年間を通じた研究の計画・見直し

① 解決すべき課題

中学校で、「総合的な学習の時間」の際に身に付けたであろう生き方選択能力や課題解決能力を高校で継承発展すれば、目的意識がより明確化し、なりたい自分へと近づくことができると予想される。そこで、中学校、高等学校の各校種における、生徒に付けさせたい「力」を明確にし、学習計画の見直しを図る。

② そのための具体的な取組み

初年度は、各校で実践している「総合的な学習の時間」の内容について情報交換をし、現状を把握する。2年目は、「総合的な学習の時間」に身に付けさせたい「力」を明確にし、各校種別到達目標を整理する。その上でそれぞれの学校において学習計画の見直しを図る。また、各年度の終わりには、成果物として実践事例集を作成し、廿日市文化ホールで成果発表会を行う。

③ その取組みの時期等

ア 平成15年度

- 7月 モデル事業立ち上げ研究計画書作成
- 8月 中高連絡会議による情報交換
- 11月 中学校の発表参観
- 12月 中高連絡会議による情報交換
- 1月 中間発表の準備実施 計画の作成
- 2月 中高合同中間発表の実施
- 3月 課題の明確化と次年度の学習内容の再考

イ 平成16年度

- 5月～随時 中高連絡会議による検討会議
- 11月 「総合的な学習の時間」に身に付けさせたい「力」を明確にし、各校種別到達目標の整理を終える
- 2月 中高合同成果発表会の実施

○ モデル事業としての取組みの評価の観点と検証の方法

評価の観点	検証の方法
1 「総合的な学習の時間」に身に付けさせたい「力」を明確にできたか。	・関係機関による評価 ・地域住民代表の評価 ・本校教員の評価 ・協力校教員の評価
2 中学校、高等学校における到達目標の整理ができたか。	・関係機関による評価 ・地域住民代表の評価 ・本校教員の評価 ・協力校教員の評価
3 各校の「総合的な学習の時間」の見直しがされたか。	・関係機関による評価 ・地域住民代表の評価 ・本校教員の評価 ・協力校教員の評価
4 「総合的な学習の時間」の推進について教職員の理解が深まった。	・本校教員の自己評価 ・授業アンケート(教師, 生徒)

2. 平成15年度の取組み概要

第1回『「総合的な学習の時間」モデル事業委員会  
期日 7月11日(金)

内容 ・委員長選出

・研究内容の検討

第2回『総合的な学習の時間』モデル事業委員会

期日 7月28日(金)

内容 ・推進計画書の検討

・中高連携のあり方の検討

第1回中高連絡会議

期日 8月28日(木)

内容 ・モデル事業の趣旨説明

・中学校と高等学校の「総合的な学習の時間」の情報交換

・中間発表に向けての日程・内容の検討

第2回中高連絡会議

期日 12月24日(水)

内容 ・中間報告会の要項の確認

・発表内容と発表者

第3回『総合的な学習の時間』モデル事業委員会

期日 1月7日(水)

内容 ・中間報告会の要項の確認

第3回中高連絡会議

期日 2月13日(金)

内容 ・中間報告会にむけての最終打ち合わせ

・各校の『総合的な学習の時間』の情報交換

『総合的な学習の時間』モデル事業 中間報告会

期日 2月24日(火) 13:30~15:45

場所 さくらびあ大ホール

内容 13:30~13:40 開会行事

13:40~14:30 中学校の部・阿品台中学校の発表・野坂中学校の発表

14:40~15:35 高等学校の部

・1年生の発表「私の生き方」

・2年生総合学習実行委員会発表

・各ゼミの発表

15:35~15:45 閉会行事

第4回中高連絡会議

期日 3月18日(金)

内容 ・今年度の反省と次年度の課題の整理

### 3. 平成15年度の成果及び課題

#### (1) 研究の成果

- ・中学校と情報交換を行うことにより、今まで試行錯誤を繰り返してきた本校の総合的な学習の内容や到達目標に方向性が見えてきた。
- ・本校は今まで、上級学校訪問や社会人講話、さらには保育園実習などで地域を教材にして学習を行ってきたが、この度の取組みを通じて、積極的に中学校の指導内容を学び、これまで以上に地域と連携を深めていくことの必要性が理解できた。
- ・中学校の発表会の参観をとおして、具体的かつ綿密な指導方法は、高校においても踏襲する必要性を痛感した。
- ・中学校と共に「総合的な学習の時間」の成果を発表することによって、両者の授業内容の相互に理解が図られるとともに、改善への意欲が触発された。

#### (2) 課題

- ・中高連携において、相互の内容を発表し参観し合うだけでなく、今後は、中学校・高等学校における「総合的な学習の時間」の到達目標をより明確にした体系的な取組みができるような環境作

りが課題である。

- ・本校では「総合的な学習の時間」を導入して3年が経過した。しかし、教職員の課題意識は十分であるとは言にくい。今後、「総合的な学習の時間」の必要性という原点から再度研修を深めていく必要がある。
- ・本校に入学してくる生徒に、中学校時代の「総合的な学習の時間」の学習記録を提出させ、生徒実態を把握することが必要である。
- ・中高の情報交換を密にし、廿日市市の地域における共通の「施設人材バンク」を作成する。
- ・地域に根をおろした、「総合的な学習の時間」を推進するために、中学校だけでなく地域の自治会や老人会さらに商工会や企業なども積極的に行事に参加して連携を深めていきたい。
- ・地域との連携は、本校の立場から物事を考えると一方通行に陥るきらいがある。そこで、継続的な取組みを願えば、保育園、小学校、中学校、大学、企業、公共団体、保護者、自治会等のニーズを把握したうえで、連携をとることが必要である。それにより、地域にも本校にも有益な学習環境を作り上げることができる事が期待できる。

### Ⅲ. 平成 16 年度の実践研究の概要

#### ① 平成 16 年度特に取り組む課題

- ・「総合的な学習の時間」に身につけさせたい「力」を明確にし、各校種別到達目標を整理する。
- ・中高合同成果発表会の実施する。（「総合的な学習の時間」の学習内容の見直し）
- ・「廿日市地域施設・人材バンク」を作成する。

#### ② そのための具体的な取組み・方策

- ・継続的に中高合同の連絡会議・検討会議を持ち、「総合的な学習の時間」に身に付けさせたい「力」や、各校種別到達目標を整理する。
- ・本校が中心となり、協力校と連携をとりながら合同発表会を実施する。
- ・中学校と本校でこれまで「総合的な学習の時間」で連携をとった施設や人材を共通のシートにまとめデータ化する。

#### ③ その取組み等の時期について

- ・5月中旬から連絡会議を開催し、11月中旬頃までには作業を終える。
- ・2月に「廿日市文化ホール」で中高合同の学習成果発表会を行う。

(別紙2)

「総合的な学習の時間」モデル事業」廿日市市推進地域  
15年度取組みの概要、16年度の計画

実施時期	取組み概要	取組みのねらい等 (事業の評価の観点も含む)
平成15年6月	「総合的な学習の時間」モデル事業」推進地域指定	
平成15年7月	(モデル校・推進地域単位) 第1回 モデル校会議・推進地域中学校訪問 ・各モデル校・推進地域の現状・課題の分析 ・各モデル地域の課題設定・計画策定	・中学校での「総合的な学習の時間」実施内容をふまえ、中高連携の課題の策定。
平成15年8月	(モデル校・推進地域単位) 第1回 モデル校・推進地域中高連絡会	・課題・計画をふまえ「総合的な学習の時間」実施内容のすり合わせ
平成15年9月	(モデル校・推進地域単位) 文部科学省担当者広島県に訪問 ・モデル事業の趣旨の再確認 ・モデル校の取り組みに対する指導・助言	・指導・助言を踏まえ、モデル校、推進地域の実施内容の明確化。
平成15年11月	中学校の「総合的な学習の時間」発表会への参観	・中学校の発表内容の実態把握をするため
平成15年12月	第2回 推進地域中学校訪問 第2回 モデル校会議・推進地域会議 第2回 モデル校・推進地域中高連絡会	・中学校の進捗状況を知るため ・中間報告会に向けて発表内容の確認
平成16年1月	第3回 モデル校会議・推進地域会議 「総合的な学習の時間」全国大会への出席。文部科学省担当者から研究方法について、指導助言を受ける。	・中間報告会の企画・運営の提案 ・全国大会に参加してモデル校・推進地域の実践上の課題解決方法の指導を仰ぐ。
平成16年2月	(モデル校・推進地域単位) 第3回モデル校・推進地域中高連絡会 中間報告会の実施	・中間報告会の企画・運営の確認 ・発表内容の講評と次年度への指導・助言を指導主事から受ける
平成16年3月	第4回 モデル校・推進地域中高連絡会 第3回 推進地域中学校訪問	・中間報告会の反省と次年度の計画策定 ・中学校の学習内容の実態把握
平成16年5月	第4回 モデル校・推進地域中高連絡会	・中高等学校の進捗状況を知る。
平成16年8月	第5回 モデル校・推進地域中高連絡会 指導主事を交えて進捗状況報告	報告書をまとめる方向を、指導主事から指導・助言を仰ぐ。
平成16年11月	中学校の「総合的な学習の時間」発表会への参観	・中学校の発表内容の実態把握をするため
平成16年12月	第4回 モデル校会議・推進地域会議 第6回 モデル校・推進地域中高連絡会	・中学校の進捗状況を知るため ・中間報告会に向けて発表内容の確認
平成17年1月	報告書の作成	・成果と課題を明確にするため
平成17年2月	(モデル校・推進地域単位) 第7回モデル校・推進地域中高連絡会 指定事業報告会	・指定事業報告会の企画・運営の確認 ・2年間のまとめ
平成17年3月	報告書提出	